

ミヤコタナゴ系統保存事業

(平成 23 年度)

概要

現在当場では 1972 年以来継代飼育している系統（水産試験場飼育個体群）、危険分散のため 1992 年 11 月 25 日に大田原市羽田から移動した系統（大田原市羽田自然個体群）、1994 年 4 月 21 日 A 市（保護上、地名は未公表）から移動した系統（A 市自然個体群）および 1994 年 9 月 22 日に矢板市山田で採集された雌 1 尾と水産試験場飼育個体群とを交配した系統（矢板・水産試験場飼育個体群）の 4 系統について飼育と繁殖を図っている。

事業実績

5 月から 8 月にかけてミヤコタナゴの飼育水槽に産卵母貝としてカワシンジュガイを投入し、自然産卵によって繁殖させた。

2011 年 3 月末現在の飼育尾数は表 1 のとおりである。

表 1 ミヤコタナゴ飼育尾数（2011 年 3 月末現在）

系統	年令群			計（尾）
	2 年魚以上（尾）	1 年魚（尾）	0 年魚（尾）	
水産試験場飼育個体群	1794	575	494	2863
大田原市羽田自然個体群	2135	660	258	3053
A 市自然個体群	2035	503	321	2859
矢板・水産試験場飼育個体群	1112	153	288	1553

(指導環境部)